

PROGRAM PRODUCING METHOD

Publication number: JP5131779 (A)

Publication date: 1993-05-28

Inventor(s): OYAMA TAKAMASA; AMIYA HIDEOTO *

Applicant(s): SONY CORP *

Classification:

- international: B42D15/00; G06Q50/00; G09B19/00; B42D15/00; G06Q50/00; G09B19/00;
(IPC1-7): B42D15/00; G09B19/00

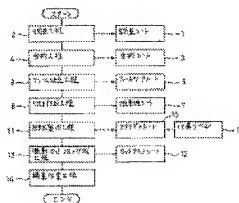
- European:

Application number: JP19910325079 19911114

Priority number(s): JP19910325079 19911114

Abstract of JP 5131779 (A)

PURPOSE:To semi-automatically collect and coordinate production ideas to prevent the generation of loss by producing a program in a process unit using the sheet of the form preset at every process when the program is prepared on the basis of a theme. **CONSTITUTION:**In a program preparing method used when a program is prepared on the basis of a theme, the program is prepared in a process unit using the sheets of the forms preset at every processes. The respective processes are executed in the order of an investigation process 2, an analyzing process 4, a frame determining process 6, a list preparing process 8, a screen play writing process 11, a shooting and cut list preparing process 13 and an editing work process 14. As a result, by following concrete patterns presented at every steps, production ideas are semiautomatically collected and coordinated and the staff are certainly told about the real intention of the producer to prevent the generation of loss.



Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

特開平5-131779

(43)公開日 平成5年(1993)5月28日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 2 D 15/00	3 2 1 C	8604-2C		
G 0 9 B 19/00	Z	8603-2C		

審査請求 未請求 請求項の数2(全 21 頁)

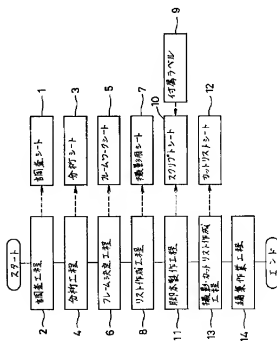
(21)出願番号	特願平3-325079	(71)出願人	000002185 ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号
(22)出願日	平成3年(1991)11月14日	(72)発明者	大山 孝征 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
		(72)発明者	網家 秀人 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
		(74)代理人	弁理士 高橋 光男

(54)【発明の名称】 番組作成方法

(57)【要約】

【目的】 本発明は制作意欲を持っているという以外、才能や経験の有無を特に必要とすることなく、制作ステップ毎に提示される具体的なパターンに追随することによって、誰もが半ば自動的に制作アイデアをまとめるとともに、スクリプト制作を経て番組を完成させ、さらに実際の制作過程にあつては、制作者の真意をスタッフに確実に伝え、これによってロスの発生を防ぐとともに、時間や金銭、労力の損失を最小限にする。

【構成】 番組作成の手順を、調査工程2、分析工程4、フレーム決定工程6、リスト作成工程8、脚本制作工程11、撮影・カットリスト作成工程13、編集作業工程14に区分し、これら各工程毎に予め設定されている書式のシートを使用して工程単位で番組制作を行ない番組を作成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 テーマに基づいて番組を作成するとき、使用される番組作成方法において、番組を作成するとき、各工程毎に予め設定されている書式のシートを使用して工程単位で番組作成を行なって番組を作成する、

ことを特徴とする番組作成方法。

【請求項2】 前記各工程は調査工程、分析工程、フレーム決定工程、リスト作成工程、脚本制作工程、撮影・カットリスト作成工程、編集作業工程の順序で実行される請求項1記載の番組作成方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はビデオ番組の制作するとき、使用される番組作成方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 ビデオ番組の制作には、従来、特殊な技術や才能およびこの分野での長い経験が必要とされ、だれでも作れるものではないと考えられてきた。そして、制作技術も特に定まったものではなく、制作者個人、個人がそれぞれの経験や技量に基づいて実制作を続けている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 したがって、番組制作を志す者は専門の学校に通うか、監督やTV局のディレクターの下で一定期間、制作体験を積むなどして技術を修得しなければならず、これらのことがビデオ利用や普及の大きな障害要因になっていた。特に、脚本制作においては、この傾向が強く、巻頭、参考書などを見るが、大体、実際の役に立たない状況である。

【0004】 本発明は上記の事情に鑑み、制作意欲を持っているという以外、才能や経験の有無を特に必要とすることなく、制作ステップ毎に提示される具体的なパターンに追随することで、誰もが半ば自動的に制作アイデアを経て番組を完成させることができ、さらに実際の制作過程においては、制作者の真意をスタッフに確実に伝えることができ、これによってロスの発生を防ぐことができるとともに、時間や金銭、労力の損失を最小限にすることができる番組作成方法を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するために本発明による番組作成方法は、テーマに基づいて番組を作成するとき、使用される番組作成方法において、番組を作成するとき、各工程毎に予め設定されている書式のシートを使用して工程単位で番組作成を行なって番組を作成することを特徴としている。

【0006】

【作用】 上記の構成において、番組を作成するとき、各

工程毎に予め設定されている書式のシートを使用して工程単位で番組作成を行なって番組を作成することにより、制作意欲を持っているという以外、才能や経験の有無は特に必要とすることなく、制作ステップ毎に提示される具体的なパターンに追随することで、誰もが半ば自動的に制作アイデアをまとめるとともに、スクリプト制作を経て番組を完成させ、さらに実際の制作過程においては、制作者の真意をスタッフに確実に伝え、これによってロスの発生を防ぐとともに、時間や金銭、労力の損失を最小限にする。

【0007】

【実施例】 図1は本発明による番組作成方法の一実施例を示すフローチャートである。この図に示す番組作成方法は調査シート1を使用して番組テーマを調査する調査工程2と、分析シート3を使用して番組テーマの構成要素を明確化する分析工程4と、フレームワークシート5を使用して番組の制作方針や概要、内容等を決定するフレーム決定工程6と、撮影用シート7を使用して映像素材を収集するリスト作成工程8と、付属ラベル9およびスクリプトシート10を使用して脚本を制作する脚本制作工程11と、カットリストシート12を使用して撮影および既存映像素材の収集、記録映像のチェックリストを作成する撮影・カットリスト作成工程13と、編集を行なう編集作業工程14とによって構成されている。

【0008】 前記調査工程2は図2に示す如く番組のテーマを決める番組テーマ決定工程20と、この番組テーマの決定工程20で決められたテーマに関して詳細な調査を行なう調査工程15とを備えており、番組テーマを決定した後、調査シート1を使用して番組テーマを調査する。

【0009】 この場合、調査シート1は図4に示す如くテーマ記入欄16と、調査結果記入欄17と、注意点記入欄18と、その他の欄19とによって構成されており、番組のテーマの調査を行なうとき、図4に示す如くテーマ記入欄16にテーマとなる事柄、例えば「箱根の紹介」という内容が書き込まれた後、テーマの説明に不可欠な事柄が注意点として抽出され、これが調査結果記入欄17に書き込まれるとともに、この調査結果記入欄17に書き込まれた内容に基づいて注意点が抽出されてこれが注意点記入欄18に書き込まれ、これによってテーマのアウトラインが浮き彫りにされるとともに、これらの調査結果がスクリプト制作の際にナレーション用として使用される。

【0010】 また、分析工程4は番組の構成要素を絞り込む絞り込み工程21と、この絞り込み工程21によって絞り込まれた構成要素について詳細に分析する分析工程22とを備えており、分析シート3を使用して番組テーマの構成要素を明確化する。

【0011】 この場合、分析シート3は図6に示す如く

複数の重要要素記述欄23と、複数の小要素記述欄24と、最終テーマ記述欄25とを備えており、前記調査工程2によって得られた記入済みの調査シート1の内容に基づいて図7に示す如く前記調査シート1の記述内容から番組の構成要素が抽出されて、これが重要要素記述欄23に書き込まれるとともに、これらの各構成要素に対する小要素が抽出されてこれが小要素記述欄24に書き込まれた後、これらの各重要要素および各小要素に基づいて最終的な番組のテーマが決められてこれが最終テーマ記述欄25に書き込まれる。

【0012】これによって、番組のテーマを構成する重要な構成要素および各構成要素を構成する小要素を明らかにし、相互の関係を明らかにするとともに、番組の“骨格”を視覚化する。

【0013】また、フレーム決定工程6は番組の基本コンセプトを決定する基本コンセプト決定工程26と、この基本コンセプト決定工程26によって決定された基本コンセプトに基づいて各構成要素のキーポイントやアピールポイント抽出するキーポイント抽出工程27と、このキーポイント抽出工程27によって抽出されたキーポイントに基づいて各構成要素を短文で説明する説明文作成工程28と、この説明文作成工程28によって作成された短文等に基づいて番組のタイトルを決定する番組タイトル決定工程29とを備えており、フレームワークシート5を使用して番組の制作方針や概要、内容等を決定する。

【0014】この場合、フレームワークシート5は図8に示す如く可能な限り短い文章でキーポイントやアピールポイント等のファクターが記入される複数のファクター記入欄30と、これの各ファクター記入欄30に記入された各ファクターを説明する際のキーポイントやアピールポイントが短文で記入される複数のキーポイント記入欄31と、前記分析シート1のファクターに基づいて前記キーポイント記入欄31に対応するファクター（サブテーマ）が記入される複数のサブテーマ記入欄32と、前記各ファクター記入欄30および各キーポイント記入欄31、各サブテーマ記入欄32に記入された内容のうち、スクリプトとして決定される内容に対応して最終的に何を、誰に、どのように伝えるかが具体的な言葉で記入される番組目的欄33と、この番組目的欄33に記入された内容に基づいて番組にふさわしいタイトルが記入されるタイトル記入欄34とを備えており、図9に示す如くファクター等が可能な限り短い文章でキーポイントやアピールポイントがファクター記入欄30に記入されるとともに、このファクター記入欄30に記入されたファクターを説明する際のキーポイントやアピールポイントが短文形式でキーポイント記入欄31に記入された後、前記分析シート1のファクターに基づいて前記キーポイント記入欄31に対応するファクター（サブテーマ）がサブテーマ記入欄32に記入される。そして、前

記各ファクター記入欄30およびキーポイント記入欄31、サブテーマ記入欄32に記入された内容のうち、いずれかがスクリプトとして決定され、このスクリプトの内容に対応して最終的に何を、誰に、どのように伝えるかが具体的な言葉で番組目的欄33に記入されるとともに、この番組目的欄33に記入された内容に基づいて番組にふさわしいタイトルがタイトル記入欄34に記入される。

【0015】これによって、フレームワークシート5中の空欄を埋めいく過程で次第にアイデアがまとまり、制作方針や訴求内容、その順序など、実際の番組制作の全容が詳細に至るまで明確化され、これが実制作の出発点となって完成したフレームワークシート5が制作者の具体的な制作意図として他人に提示することができるようになる。

【0016】また、リスト作成工程8は各構成要素の映像内容を言葉によって具体化して撮影用シート7に書き込む映像具体化工程37と、番組の長さ（時間）を決定する時間決定工程38と、導入、展開、結末部の長さや展開部の各要素の時間、説明順序を決めるバランス決定工程39、40とを備えており、撮影用シート7を使用して映像素材収集用のリストを作成してこれら各映像素材をバランスさせる。

【0017】この場合、前記撮影用シート7は図10に示す如くファクター（サブテーマ）が書き込まれる複数のファクター記入欄41と、前記フレームワークシート5に記入されている短文に基づいて前記各ファクター記入欄41に書き込まれた各ファクターに対応するキーポイントやアピールポイントをできる限り具体的なイメージで書き込む複数の映像内容記入欄42とを備えており、フレーム決定工程6が終了した後、図8に示す如くファクター記入欄41に各ファクターが書き込まれた後、前記フレームワークシート5に記入されている短文に基づいて前記各ファクター記入欄41に書き込まれた各ファクターに対応するキーポイントやアピールポイントができる限り具体的なイメージで短文化されて映像内容記入欄42に書き込まれる。

【0018】これによって、番組に使用される記録済みの映像素材を全て具体的なカットとして示すことができるとともに、リストアップされたカットの数量により、番組の大きな長さを予測することができる。

【0019】また、脚本制作工程11は図3に示す如く前記撮影用シート7の内容に基づいてスクリプトを作成するスクリプト作成工程45を備えており、前記撮影用シート7の内容に基づいた映像のイメージを各付図ラベル9に書き込むとともに、これらの各付図ラベル9をスクリプトシート10に貼付して脚本を制作する。

【0020】この場合、スクリプトシート10は図12に示す如く映像素材の使用順序を示す複数の使用順序記入欄46と、映像化された付図ラベル9が貼付される複

数の付属ラベル貼付欄47と、タイトルやスーパーインポーズを挿入するときに使用される複数のタイトル欄48と、カットの長さを指定するときに使用される複数の継続時間記入欄49と、編集の際、各カットや各シーンの展開時に使用する効果(E f f e c t)の使用場所を指定する際に使用される複数の効果記入欄50と、シーンを分けるとき、どこからどこまでが同じシーンをかを指定する際に使用されるシーン番号記入欄51と、カットおよびシーンに対応したナレーション用を使用されるナレーション記入欄52とを備えており、リスト作成工程8が終了した後、図13～図16に示す如く映像のイメージが各付属ラベル9に書き込まれて各付属ラベル貼付欄47に貼付されるとともに、映像素材の使用順序を示す番号が各使用順序記入欄46に書き込まれる。そして、必要に応じてタイトル欄48にタイトルやスーパーインポーズの内容が書き込まれたり、継続時間記入欄49にカットの長さを指定する値が書き込まれたり、効果記入欄50に編集の際、各カットや各シーンの展開時に使用する効果(E f f e c t)の使用場所が書き込まれたり、シーン番号記入欄51にシーンを分けるとき、どこからどこまでが同じシーンを指定する内容が書き込まれたり、ナレーション記入欄52にカットおよびシーンに対応したナレーションの内容が書き込まれたりする。

【0021】これによって、リストアップされた映像素材(文章)が制作者の意図する具体的なイメージで付属ラベル9に書き込まれて制作者の意図が具体的なイメージとして明確化されるとともに、カット間あるいはシーン間をつなぐに使用される効果(エフェクト)および映像の説明文(スーパーインポーズ)の挿入箇所に至るまで番組制作のアイデアが明確化され、これが他の人に正確に提示することができるようになる。

【0022】また、撮影・カットリスト作成工程13は印刷物の映像素材を収集する印刷物収集工程5と、映像素材を収集する撮影工程56と、カットリストを作成するカットリスト作成工程57と、記録映像と印刷物との総量が編集に充分かどうかをチェックするチェック工程58とを備えており、カットリストシート12を使用してチェックリストを作成し、撮影および既収映像素材の収集、記録映像の長さ等が充分な量かどうかをチェックする。

【0023】この場合、カットリストシート12は図17に示す如く各カットやシーンが存在するテープの番号が記入される複数のテープ番号記入欄60と、番組中における各カットやシーンの位置を示す時間が記入される複数の位置記入欄61と、各カットやシーンの長さを示す値が書き込まれる複数の継続時間記入欄62と、各カットや各シーンの内容を示す短文が書き込まれる複数の目次記入欄63と、各カットや各シーンの映像サイズ等が書き込まれる複数の映像サイズ記入欄64と、各映像

の品質等が書き込まれる複数の品質記入欄65と、各カットや各シーンの修正有無が書き込まれる複数の修正有無記入欄66とを備えており、脚本制作工程11が終了して撮影が行われた後、図18に示す如く各カットやシーンが存在するテープの番号がテープ番号記入欄60に記入されるとともに、番組中における各カットやシーンの位置を示す時間が位置記入欄61に記入される。さらに、各カットやシーンの長さを示す値が継続時間記入欄62に書き込まれるとともに、各カットや各シーンの内容を示す短文が目次記入欄63に書き込まれる。また、必要に応じて各カットや各シーンの映像サイズ等が映像サイズ記入欄64に書き込まれたり、各映像の品質等が品質記入欄65に書き込まれたり、各カットや各シーンの修正有無が修正有無記入欄66に書き込まれたりする。

【0024】これによって、取材後、編集を行なう際、使用する映像素材が長いテープの中のどこにあるかを知ることができるので、これを探す時間の短縮を通じて編集効率を大幅に向上させることができるとともに、一般のリストの中に収集した映像の全て(例えば、編集に使用するか否かに至るまで)をデータとして記録して、プログラム完成後に、そのまま映像資料の記録簿として利用することができる。

【0025】また、編集作業工程14は映像編集を行なう映像編集工程70と、編集映像の内容および品質のチェックを行なう編集内容チェック工程71と、ナレーションを録音するナレーション録音工程72と、BGM(バック・グラウンド・ミュージック)を挿入するBGM挿入工程73とを備えており、撮影・カットリスト作成工程11によって作成されたカットリストシート12の内容に基づいて映像素材を編集してその内容をチェックしたり、ナレーションを録音したり、BGMを挿入したりして番組を完成させる。

【0026】このようにこの実施例においては、番組作成手順を各工程別に区分するとともに、各工程に予め設定されている書式のシート、例えば調査シート1、分析シート3、フレームワークシート5、撮影用シート7、付属ラベル9、スクリプトシート10、カットリストシート12を使用して番組を作成するようにしたので、制作意欲を持っているという以外、才能や経験の有無を特に必要とすることなく、制作スタッフ毎に提示される具体的なパターンに追随することで、誰もがほぼ自動的に制作アイデアをまとめることができるとともに、スクリプト制作を経て番組を完成させることができ、さらに実際の制作過程にあつては、制作者の真意をスタッフに確実に伝えることができ、これによってロスの発生を防ぐことができるとともに、時間や金銭、労力の損失を最小限にすることができる。

【0027】また、上述した実施例においては、各工程毎に予め設定された書式のシート、例えば調査シート

1、分析シート3、フレームワークシート5、撮影用シート7、付属ラベル9、スクリプトシート10、カットリストシート12を使用するようにしているが、同様な機能を持っているシートであれば、これら調査シート1〜カットリストシート12の書式を他の書式にしても良い。

【0028】また、上述した実施例においては、番組作成の工程を調査工程2および分析工程4、フレーム決定工程、リスト作成工程8、脚本制作工程11、撮影・カットリスト作成工程13、編集作業工程14に区分しているが、同じ流れを持っていれば、これを更に細分化しても、またマクロ化しても同じ効果を得ることができる。

【0029】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、制作意欲を持っているという以外、才能や経験の有無を特に必要とすることなく、制作ステップ毎に提示される具体的なパターンに追随することで、誰もが半ば自動的に制作アイデアをまとめることができるとともに、スクリプト制作を経て番組を完成させることができ、さらに実際の制作過程にあっては、制作者の真意をスタッフに確実に伝えることができ、これによってロスの発生を防ぐことができるとともに、時間や金銭、労力の損失を最小限にすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による番組作成方法の一実施例を示すフローチャートである。

【図2】図1に示す番組作成方法の詳細なフローチャートである。

【図3】図1に示す番組作成方法の詳細なフローチャートである。

【図4】図1に示す調査シートの具体例を示す平面図である。

【図5】図4に示す調査シートの具体的な使用例を示す平面図である。

【図6】図1に示す分析シートの具体例を示す平面図である。

【図7】図6に示す分析シートの具体的な使用例を示す平

面図である。

【図8】図1に示すフレームワークシートの具体例を示す平面図である。

【図9】図8に示すフレームワークシートの具体的な使用例を示す平面図である。

【図10】図1に示す撮影用シートの具体例を示す平面図である。

【図11】図10に示す撮影用シートの具体的な使用例を示す平面図である。

【図12】図1に示すスクリプトシートの具体例を示す平面図である。

【図13】図12に示すスクリプトシートの具体的な使用例を示す平面図である。

【図14】図12に示すスクリプトシートの具体的な使用例を示す平面図である。

【図15】図12に示すスクリプトシートの具体的な使用例を示す平面図である。

【図16】図12に示すスクリプトシートの具体的な使用例を示す平面図である。

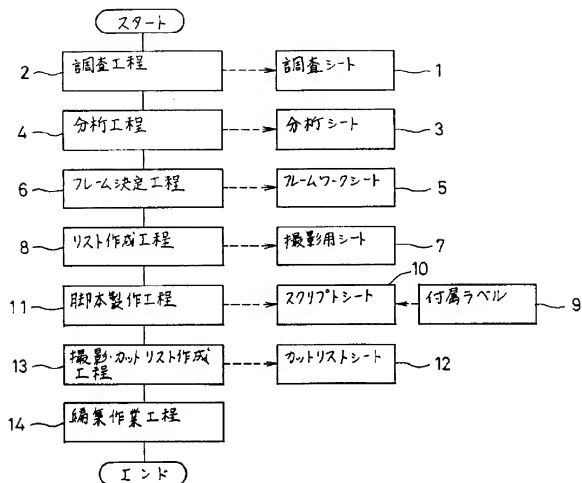
【図17】図1に示すカットリストシートの具体例を示す平面図である。

【図18】図17に示すカットリストシートの具体的な使用例を示す平面図である。

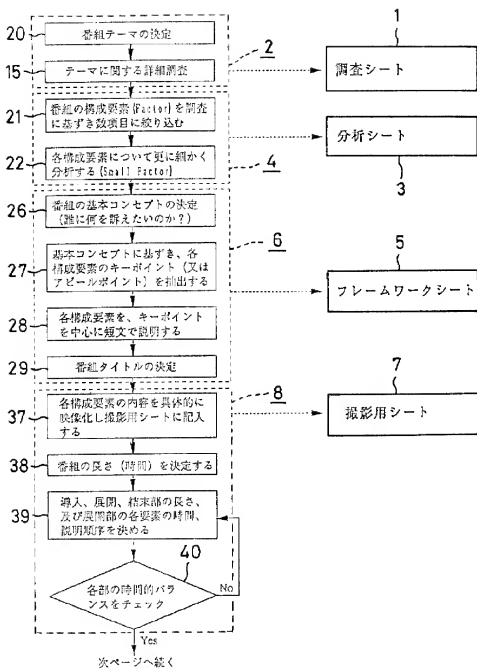
【符号の説明】

- 1 調査シート
- 2 調査工程
- 3 分析シート
- 4 分析工程
- 5 フレームワークシート
- 6 フレーム決定工程
- 7 撮影用シート
- 8 リスト作成工程
- 9 付属ラベル
- 10 スクリプトシート
- 11 脚本制作工程
- 12 カットリストシート
- 13 撮影・カットリスト作成工程
- 14 編集作業工程

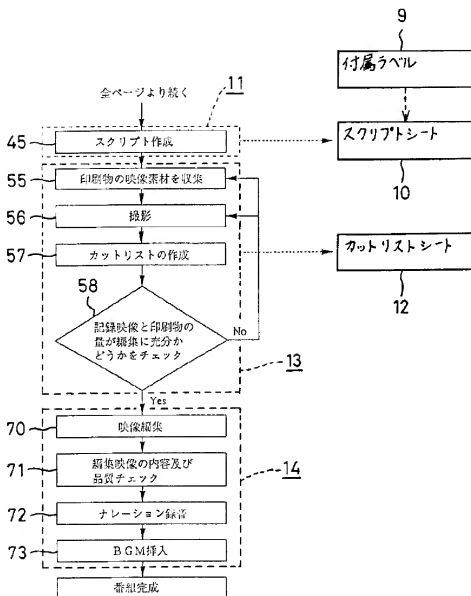
【図1】



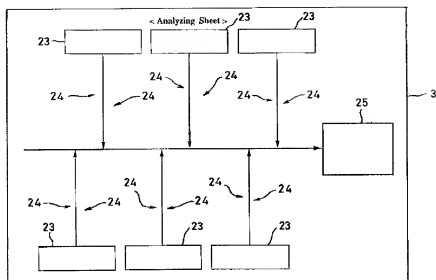
【図2】



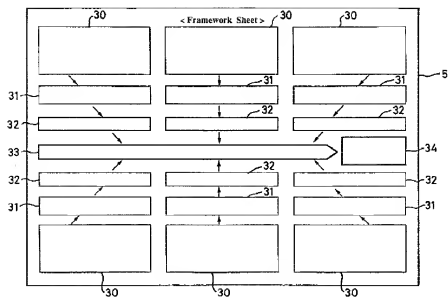
【図3】



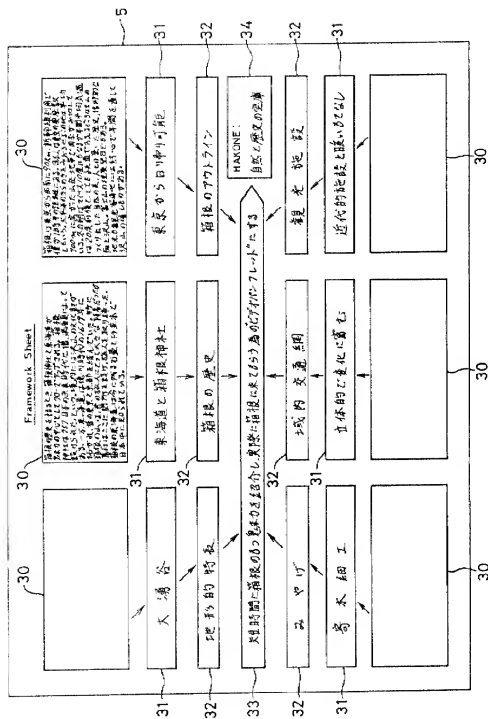
【図6】



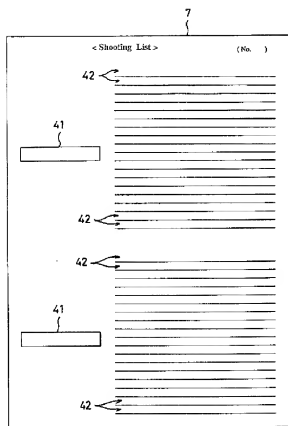
【図8】



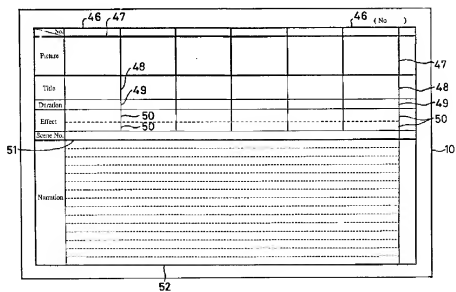
【図9】



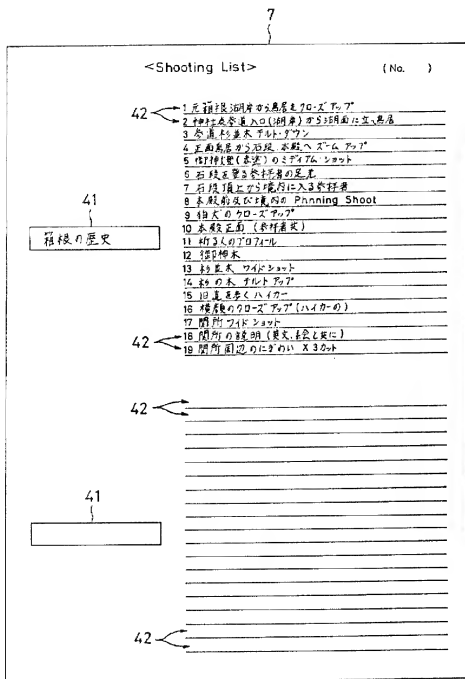
【図10】



【圖12】



【图 1-1】



【图 17】

[illegible]

